



思いやりの心を持ち、自ら学び考える、心身ともに健康な子どもの育成

<目指す学校像>

- 児童にとって、学校生活が楽しく、居場所(活躍の場)のある学校
- 児童にとって、知・徳・体をバランスよく身に付けることができる学校
- 保護者・地域にとって、安心・安全で信頼できる、開かれた学校
- 教職員にとって、学び続けることができ、チーム学校の一員として活躍できる学校

<職場環境>

- 困ったことがあれば、抱え込まずに気軽に相談し合える職場環境

「目指す児童像」

- **やさしく 思いやりの心をもった児童**
 - ・やさしさと思いやりのある児童
 - ・笑顔であいさつができる児童
 - ・誰とでも仲良くできる児童
 - ・折り合いをつけることのできる児童
- **かしこく 自ら学び考える児童**
 - ・基礎学力を身に付けた児童
 - ・アクティブ・ラーニングできる児童
 - ・誰とでもコミュニケーションを図れる児童
- **たくましく 心身とも健康な児童**
 - ・基礎体力を身に付けた児童
 - ・健康と安全を考えて行動する児童
 - ・強い心で頑張り抜く児童
 - ・がまんすることのできる児童

<目指す教職員像>

- 一人一人の児童を温かく見つめ、明るくやさしく接し、信頼される教職員
 - ・笑顔で児童に接し、元気にあいさつする教師
 - ・毎日全員に声かけをし、児童をほめる教師
 - ・常に危機意識をもち、児童を守る教師
- 教育への情熱をもち、自ら研究・修養に努め、資質と力量を高める教職員
 - ・児童に自ら考えさせる(アクティブ・ラーニング)授業を展開する教師
 - ・わかる授業づくりの5つのポイントを大切に、計画的に指導する教師
 - ・積極的に学校全体の研究(主題研究)に関わる教師
- チーム学校の一員として、個を生かして活動する、心身共に健康な教職員
 - ・学級・学年・学校の連携を大切にす教師
 - ・同僚や上司、保護者や地域の方と進んで話す教師
 - ・個性を生かし、新しい提案をすることができる教師

本年度の目標と目標達成のための取組

1 豊かな心を育む

- 自己の生き方についての考えを深める道徳教育の推進
 - ・発達段階や特性等を踏まえ、自立心や自律性、生命を尊重する心や他者を思いやる心の育成
 - ・「考え議論する道徳」の授業の実践
- いじめを生まない好ましい人間関係づくり
- あいさつ運動、清掃指導(もくもく指導)の取組

※時代の変化に応じた業務改善

- ・専科指導による空き時間の活用・SSSの活用
- ・時間外勤務を組織として削減
 - 月80時間以上にならないように
- ・定時退校日(毎水曜日)の厳守
 - 平日は20時を上限
- ・原則休日業務は行わない(管理職申告)

2 確かな学力の向上を図る

【ひびきの小学校スクールプランの推進】

- すべての子どもが分かる・できる喜びを味わうことのできる学習活動の充実
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- 英語教育リーディングスクールの取組
- 学習評価に関する参考資料の周知(国研発行)
- 学習規律(ひびきの小スタンダード)の徹底
- ひびきのタイムの設定
- 中・高学年における専科指導
- 自学ノートを活用した家庭学習の充実
- わかる授業づくりの5つのポイントの周知・徹底
- 算数科学習の授業改善(ノートの工夫)
- 学力テストを中心としたPDCAの確立
- プログラミング教育の実施

3 健やかな体を育む

- 新体力テストの適切な実施に向けた校内研修の設定
- 体力テストを中心としたPDCAの確立
- 年間を通した一校一取組(短縄週間・長縄週間)の実施

5 確かな人権感覚を育む人権教育

- 「新版 いのち」等による人権教育の推進
- 教職員の確かな人権感覚

4 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の推進

- 子どもの特性等について共通理解を深め教育的ニーズに応じた全校体制による適切な指導・支援
- 「心のバリアフリー事業」指定校としての取組
- 交流学級を中心とした普通学級との交流

※SDGsの視点を踏まえた教育の推進(持続可能な社会を構築する態度を育てる教育)

- 目標4「質の高い教育をみんなに」
- 英語教育リーディングスクールの取組等(環境教育、ICT推進、国際理解教育等)

6 安心・安全な学校づくり

- 通学路の安全指導(登下校指導、校舎内の安全管理)
- 教職員の危機管理意識の向上 危機管理の「さしすせそ」
 - ・「報・連・相」時系列で記録/保護者には自分が思う一つ上の手厚い対応
 - ・事実の確認(当事者、周りの児童)、当日中に関係保護者に連絡
 - ・個人情報管理、飲酒運転・体罰・不適切な言動等不祥事の防止

7 指導力向上に向けた取組

- ・ OJTシステムの確立(若葉会…メンターの会、ひびきのC a f e)
- ・ 若年研修の実施(授業づくり動画の活用、「先輩の授業に学ぶ」の実施)
- ・ 低学年(1・2年生)における2ユニット制の導入による若手の育成
- ・ 新採教員配置学年での「持ち合い授業」「互見授業」による学級経営力・指導力の向上
- ・ 選択型研修の実施(年1回校外研修会へ参加、10年次未満教員の年1回授業公開)